



2025 毛呂山町勢要覧 合併70周年記念

祝合併70周年

晩秋の総合公園で開催された、毛呂山町合併70周年記念の花火大会。輝く未来への願いを込め打ち上げられた花火は、多くの人を魅了。歓喜とともに秋の夜空を美しく彩り、まさに永遠の繁荣を祝うがごとく。



Catalog Pocket

翻訳アプリ カタログポケット

このパンフレットの情報を多言語に翻訳できます。

The information in this brochure can be translated into multiple languages.



2025 毛呂山町勢要覧 合併70周年記念

発行日 ■ 令和7年2月

発行 ■ 毛呂山町

埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

TEL 049-295-2112 FAX 049-295-0771

URL <https://www.town.moroyama.saitama.jp>

企画・編集 ■ 毛呂山町秘書広報課

制作 ■ 朝日印刷工業株式会社



祝70周年

武者小路 知行
Musayakoji Tomoyuki
一般財団法人新しき村
理事長

Profile

1947年生まれ。東京都出身。祖父は新しき村の創設者である武者小路実篤、現在は一般財団法人新しき村と調布市武者小路実篤記念館理事長を務めている。趣味は天体観測とスポーツ鑑賞。

合併70周年おめでとうございます。

この70年の間に、町を取り巻く環境は大きく変化し発展してきたものと思います。

祖父 武者小路実篤が、この地に「新しき村」を創ったのは今から85年前のことです。この間、毛呂山町や近隣市町をはじめ、多くの支援者のご協力を頂きながら一歩一歩ではありますが確かな歩みを続けて参りました。

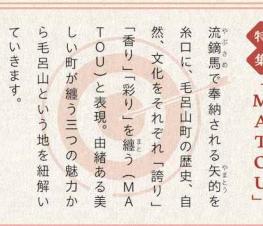
新しき村はこれからも毛呂山町とともに100年先を目指して頑張って参ります。



毛呂山70年

ダンカン Dankan お笑いタレント

ゆず香る毛呂山が
大好き



ホットとする故郷
もろやま

瀬戸 大也
Seto Daiya
水泳／競泳選手

Profile

1994年生まれ。泉野小学校、毛呂山中学校出身、13、15年世界選手権で400メートル個人メドレー2連覇、16年リオ五輪銅メダル、19年世界選手権で個人メドレー2冠を達成。東京五輪に続き、パリ五輪代表に選出。

MOROYAMA
70.
Anniversary

毛呂山町にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍される皆さんから、毛呂山町合併70周年のお祝いメッセージを頂きました。

We have received congratulatory messages for the 70th anniversary of the Moroyama Town merger from people who are connected to Moroyama Town and active in various fields.

毛呂山町合併70周年、誠自然豊かな毛呂山町で、川日がワクワクの幼少期を送の乗り子も経験し、貴重な毛呂山町で過ごして来ま毛呂山町の方に応援をしても何年経っても自分にとってきな故郷です。

におめでとうございます。私はやブールで遊び、虫を捕り、毎りました。ご縁があつて流鏑馬数えきれないほどの楽しい時間でした。そして、いつも沢山の毛らい本当に感謝しております。毛呂山町は一番ホットする大好



毛呂山町長

未来へ夢と希望をつなぐ
人もまちも健幸に

毛呂山町長 井上 健次

毛呂山町は、恵まれた自然と先人が築いた歴史、文化を持つ町です。ふるさと毛呂山に住むことを誇りに思い、郷土を愛する心を育み、さらに住みよいまちづくりを進めるために、未来への希望を抱き、輝いている姿をこの町勢要覧を通じて感じ取っていただければ嬉しい思います。

毛呂の地名が生まれたのは奈良時代といわれていますが、現在の毛呂山町となったのは昭和30年に川角村と合併してからです。本年で70年を迎いますが、先人たちの絶え間ない努力により、さまざまな発展を遂げてまいりました。

さらなる町の飛躍を願うものですが、今後のまちづくりとして「みんなでつくる 住みやすいまち 住み続けたいまち もろやま」を将来像として掲げ、町民の皆さまとの協働のまちづくりを主に、人もまちも健幸でいられるよう、共に力を合わせ、夢と希望に満ちた毛呂山町となるよう精進してまいります。

960年以上の歴史を誇る流鏑馬、全国ではじめて産地化した桂木ゆず、武者小路実篤ゆかりの新しき村、そして埼玉医科大学病院がある医療と福祉の町。毛呂山町のすべてを後世に受け継ぐため、この町勢要覧をご覧いただき、町に対するさらなるご理解とご協力をいただければ幸いです。

Toward the future: Linking dreams and hopes, improving people's and towns' health and wellness
Kenji Inoue, Mayor of Moroyama
Moroyama is a town with a rich natural environment, history, and culture built by its predecessors. In the 70 years since its merger, thanks to the tireless efforts of our predecessors, the town has achieved a great deal of development. We have set a goal of "Moroyama, a town that is easy to live in, created by everyone, and a town that people want to continue living in" as our future vision, and mainly through collaborative town development with the local residents, we work hard to make Moroyama a town full of dreams and hope so that health and wellness of both people and the town are maintained. Moroyama is a town that boasts a history of more than 960 years of yubasume (horseback archery), the first place in the country to produce Katsukura yuzu citruses, and a new village associated with Mushakoji Sanetatsu, and also a town of medicine and welfare with Saitama Medical University Hospital. In order to pass on everything about Moroyama Town to future generations, I hope that you will read this town profile to gain a better understanding of the town and offer your cooperation.



歴史をバネに躍進を

毛呂 光一
Moro Kouichi

毛呂郷領主末裔 /
歯科医師

Profile

1961年生まれ。山形県鶴岡市出身。鎌倉御家人の毛呂季季をルーツに持つ。現在、山形県鶴岡地区歯科医師会の会長を務めている。趣味は家庭菜園と読書。

ふるさとの歴史を大切に、日々共に躍進する町を創り上げられている毛呂山町の皆様、合併70周年、誠に嬉しく心から敬意と感謝を申し上げます。

父千鶴夫、母富美子が温かい御もてなしを賜り、毛呂家文書を御町資料館に収納させて頂けた喜びは無上です。毛呂季光のルーツを辿りながら、御地をご案内下さった折の橘の花の香りが今も懐かしいです。「鎌倉街道上道」の国史跡指定をお祝い申し上げ、真心込めて史跡と伝統行事を護り、銘産を創る活力に万歳です。



【町の鳥】めじろ



【町の花】きく



町章



【町の木】ゆず



70年のあゆみ

町長あいさつ	合併70周年に寄せて
瀬戸 大也	毛呂 光一
ダンカン	【伝統を繋ぐ】
武者小路 知行	【四季彩景】
特集 MATOU 誇り	【里山の恵み】
毛呂山を歩こう MAP	MATOU 彩り
ずっと輝く毛呂山暮らし	【里山の恵み】
6	4
12	8
10	6
14	2

目 次



column

国指定史跡 鎌倉街道上道

毛呂山町歴史民俗資料館の西側には、南北に鎌倉街道が通っています。毛呂山町の鎌倉街道は、県内でも保存状態がとてもよく、文化庁の「歴史の道百選」にも選ばれました。

鎌倉街道は、中世、政治の中心であった鎌倉と、関東諸国や信濃、越後、陸奥を結ぶ主要道路でした。「いざ鎌倉」と鎌倉幕府の御家人たちが街道を行き来するなかで、鎌倉街道沿いで数多くの合戦が行われました。

埼玉県を通る鎌倉街道は、中道と上道です。このうち、毛呂山町を通る鎌倉街道は「上道」で、坂戸市森戸から高麗川を渡り、毛呂山町市場・西大久保の境、川角・大類の境を抜けて、越辺川を渡り、鳩山町今宿へと続いています。

鎌倉街道は、軍事道路であり、物流の幹線道路でもありました。毛呂山町の鎌倉街道には、往時の面影をしのばせる古道の景観が残り、街道周辺からは、中世の寺院跡や宿場の跡などの遺跡も発見されています。

令和4年11月10日付け、毛呂山町の「鎌倉街道上道」が正式に国の史跡に指定されました。今もなお、はるか遠い歴史の物語を感じさせてくれる地です。



ここ、毛呂山。わざわざ遠方から足を運ぶ方も大勢いらっしゃるし、観た人は皆さん感動したと言つてくれるんです。

それぞれの役割を教えてください

入曾 矢取りといって、乗り子の弓や鞍の管理などをするのが私の役割ですね。

お殿様である乗り子の側に付いて廻ります。10km以上の道のりを慣れない草鞋を履いて歩くのはなかなかしんどいんです。でも、今年も頑張りますよ！

下田 馬は賢くて繊細。乗り子が緊張して余計な力が入る、それが馬に伝ります。本番では手綱を引いて誘導し、時には走る馬を止めることも。体力には自信がありますが、馬の力には敵いませんから10人がかりで制御します。

櫻井 取りは主に祭馬のお世話をします。10km以上の道のりを慣れない草鞋を履いて歩くのはなかなかしんどいんです。本番はどうしても緊張するけど、「乗り子は選ばれし

者」という誇りを持つて堂々とやり遂げたいです。

入曾 「殿様」は自分との闘い。そういう意味で孤独だよね。しつかり支えなければ身が引き締まりますね。

櫻井 每年、地域の人も楽しみにしてくれていると実感しています。祭馬となる馬が稽古始めてやつてくると、近所の人や保育園児が集まってきて工サをあげたり、なでたり…。そんなほほえましい光景が見られるんですよ。

下田 流鏑馬の乗り子はかつこいいので学校でも話題になります！

入曾 伝統の祭事を続けていくことが大変な時代だとも思いますが、無事に終わってみると何にも代えがたい達成感や充実感を味わえるね。町全体に一

つも想いを持って堂々とやり遂げたいです。

入曾 「殿様」は自分との闘い。そういう意味で孤独だよね。しつかり支えなければ身が引き締まりますね。

櫻井 每年、地域の人も楽しみにしてくれていると実感しています。祭馬となる馬が稽古始めてやつてくると、近所の人や保育園児が集まってきて工サをあげたり、なでたり…。そんなほほえましい光景が見られるんですよ。

下田 流鏑馬の乗り子はかつこいいの

人が支えてくれているのを感じます。自分が後に続けたいという子がどんどん

下田 乗り子をやっていると、大勢の人が支えてくれているのを感じます。自分が後に続けたいという子がどんどん

櫻井 その気持ちが大事だよね！自分が乗り子を務めた時も支えてもらつたから恩返しという思いで携わっています。子どもや孫の代にまでつなげていきたく思います。

一同 毛呂山の流鏑馬を今年も成功させましたね！

下田 乗り子を務めるのは昨年に続いて今年で2回目。馬に乗る練習は半年ほど前から始まっています。今日は神社の馬場で稽古をしてきました。本番が近づいてきて緊張感も少しづつ高まっています。

櫻井 子どもが射手を務める流鏑馬は全国でも2箇所しかなくて、その一つが

本当にすごいよ。

入曾 元々、馬に乗った経験がほぼない子が本番では馬上から弓を放つたから、相当なフレッシュだよね。

櫻井 子どもが射手を務める流鏑馬は全國でも2箇所しかなくて、その一つが

本当にすごいよ。

入曾 元々、馬に乗った経験がほぼない子が本番では馬上から弓を放つたから、相当なフレッシュだよね。

櫻井 正徳さん 下田恵生さん 入曾康雄さん



つな 伝統を 繋ぐ

平安時代から続く出雲伊豆比神社の流鏑馬。毛呂山の人々によって代々伝統が守られ、現代まで繋がる壮大な歴史を持つ一大行事です。本番前の稽古終わりに、毛呂山の流鏑馬で重要な役割を担う御三方へ、伝統を未来に繋ぐことへの思いをうかがいました。

Yabuse of Izumo Iwai-jinja Shrine, which has been performed since the Heian period, is a major event with a magnificent history that has been passed down from generation to generation by the people of Moroyama and continues to this day. In this discussion, we asked the three people who play an important role in the Yabusame of Moroyama about their thoughts on passing on the tradition to the future.

毛呂山町 合併70周年記念 特別座談会



毛呂山の特産品は
ゆずだけじゃない！

イチゴ



町内ではイチゴ狩りが楽しめるところがたくさんあります。さまざまな品種を栽培していますので食べ比べをしてみては！

ブルーベリー



摘み立ての完熟ブルーベリーは驚くほど甘みたっぷり。有機肥料で育てたブルーベリーをお腹いっぱいいわって♪

サクランボ



果物の中でも高級品といわれるサクランボ。雨よけハウスで食べ放題で満喫できます。

たまご



農林大臣賞を2回も受賞するなど評価が高くブランド化されている毛呂山の卵。やや赤味を帯びた黄身は高く盛り上がり、濃厚な味わいがあります。

もろこしどん



地場産モロヘイヤを麪に練り込みました。ネババでうどんをツルツル、もっちりとした食感です。夏バテ防止にぴったり！

ゆず香る毛呂山みやげ

ゆずサブレ



桂木ゆずの厚皮を生地に練り込んで仕上げました。ゆずの香りがただよう優しい味のサブレとなっております。パッケージには「もろ丸くん」も印刷され、お子様にも人気の商品です。

桂木の真珠



白あんにゆず酒とゆずの皮を混ぜ、ホワイトチョコでコーティングしたカステラ生地で包みました。



ゆずジュース

桂木ゆずの豊かな香りを詰め込んで作ったバリエーションに富んだジュース。中でもダンツの1番人気は「柚子の贅沢」です。



ゆずのお酒

桂木ゆずをふんだんに使用したお酒です。穏やかな酸味と優しい甘さを引き出し、さわやかなゆずの香りをお楽しみいただけます。ゆず香るクラフトビールは自然なゆずのほろ苦さを感じます。



ゆずジャム

砂糖と水とゆずだけで丁寧に作っています。お湯で溶かして飲むと、味と香りを楽しみながら身体が温まるのでオススメ！ゆずを種ごとで使用し、食べやすく仕上げた「種ごと柚子」もどうぞ。

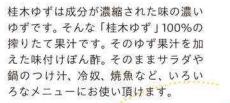
エッグバウム
(柚子クリーム入り)

里山の恵み

ゆずの栽培をはじめ数々の特産品が毛呂山の地でつくられます。日本最古の产地といわれる桂木ゆずを守り伝える人々、個性豊かで香り高い毛呂山みやげ。そこから豊かな自然と共に暮らしてきた人々とその風景に思いをはせます。

A number of specialty products are produced in the Moroyama area, including yuzu. Katsuraki yuzu is a unique and fragrant souvenir that has been passed down by the people who have preserved the oldest yuzu production area in Japan. It makes you think of the people who have lived with the rich nature there, and the scenery.

ゆず果汁とゆずポン酢



桂木ゆずは成分が濃縮された味の濃いゆずです。そんな「桂木ゆず」100%の搾りたて果汁です。そのゆず果汁を加えた味付けぽん酢。そのままサラダや鍋のつけ汁、冷奴、焼魚など、いろいろなメニューにお使い頂けます。

ゆず味噌とゆず巻き



ゆずを活用したゆず味噌は、味噌にゆずの皮や果汁を加えた万能調味料。ゆず巻きは、大根やゆずの皮を巻いて、甘酢に漬けた郷土料理。秋の祭りや正月には欠かせない一品です。

桂木ゆずに関わるきっかけ

桂木ゆずの生産と商品開発、体験観光まで手がける若手生産者として、農家の池辺幸子さんにお話を伺いました。

桂木ゆずの魅力は？

大学卒業後、20年近く東京で働いていたのですが、コロナ禍をきっかけに毛呂山へリターン。実家のゆず畠で手伝いをするう



Profile
桂木ゆずの生産・商品開発・販売・体験観光を手がける『喜代美園』の代表。祖母の代から続くゆず畠を引き継ぐ形で事業を継続。美味しいゆずを食す喜びひとと、双葉体験で自然に触れられる楽しさを出して、ふるさと毛呂山の魅力を県内外に向けて発信している。人やモノをつなぐ力が好きで、「人を巻き込む力」が自身の強みである。

桂木ゆずの歴史

日本最古のゆずの产地として知られる毛呂山町。古くは江戸時代に瀧野入村（現在の瀧ノ入地区）で産出されたとの記録が残っています。この地区で栽培されたゆずは、昭和初期に「桂木ゆず」の銘柄で東京市場へ出荷。以降、それまで盛んだった養蚕からゆず栽培へと舵を切る生産者が増え、昭和30年代には全国有数のゆずの产地へと発展しました。



ゆづを生産することは、かなり手間暇がかかりますし体力勝負なところもあります。だからこそ、商品が完成した時の喜びもひとしお。それと同時に、桂木ゆづと一緒に進化していきます！

お客様と分かち合う幸福感が、今私の原動力となってくれています。これからも感謝を忘れず、尊敬する先輩に学び、桂木ゆづと共に進化していきます！



Spring



鎌北湖の桜

【3月下旬～4月上旬】

花見の名所としても知られており、
湖面に映る桜が美しい。
夏になると新緑が青々と
茂り爽やかです。



滝ノ入口ローズガーデン

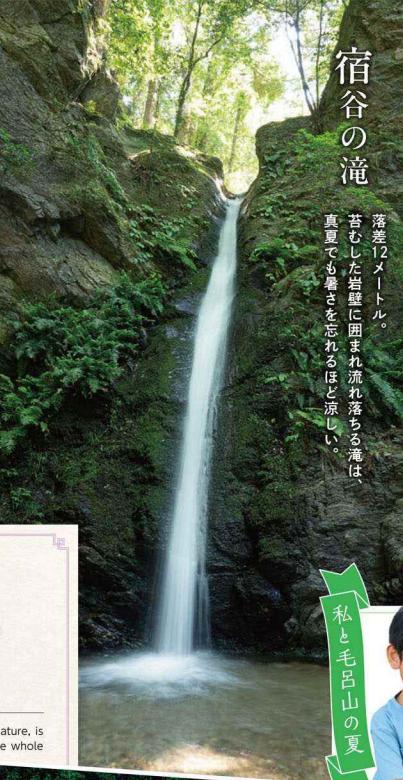
【5月中～下旬, 10月中～下旬】

静かな山間に広かり、
バラと里山の風景とが調和した
癒しの空間。
見頃は5月と10月で、
毎年2回のバラまつりが行われます。



箕和田湖 こぶしの花

【3月頃】



宿谷の滝

落差12メートル。

苔むした岩壁に囲まれ流れ落ちる滝は、
真夏でも暑さを忘れるほど涼しい。



桂木観音のあじさい

【6月頃】



ホタル観賞は一生の思い出に

今年の夏、子どもと一緒に町内の川でホタルを見る事ができました。正直言って、こんなにたくさんホタルが見られるとは思っていませんでした。川のほとりに広がる光の点滅に、子どもも私も、その幻想的な景色に心を奪われました。夜風に吹かれながらのひとときは、日常の喧騒を忘れさせてくれる貴重な時間でした。地元にこんなに素敵な場所があったことを再発見できたことが、本当に嬉しかったです。

春の流鏑馬

【3月上旬】

6歳以下の幼児が乗り子となるのが
春の流鏑馬。
武者人形のような愛らしい姿に
人々の歓声が上がります。



毛呂本郷夏祭り

【7月中旬】

夜の闇の中、幻想的に光る
山車の引き回しが最大の見どころ。
毛呂山の盛夏を告げる伝統的な
お祭りのひとつです。

Summer

総合公園の花蓮

【7月上旬～8月中旬頃】



宿谷の滝

【6月頃】



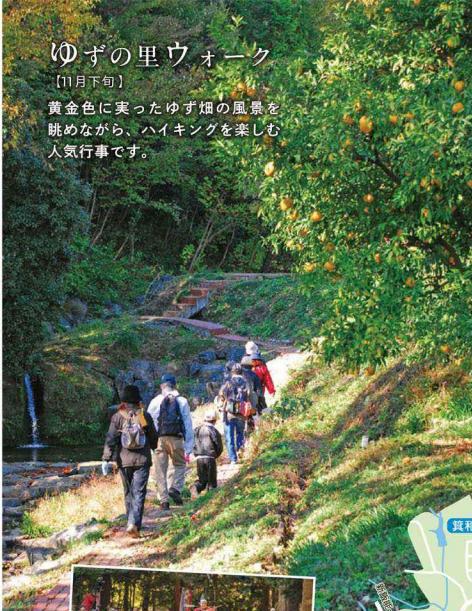
ゆずの里オートキャンプ場

Autumn



ゆずの里ウォーク [11月下旬]

黄金色に実ったゆず畑の風景を眺めながら、ハイキングを楽しむ人気行事です。



Winter



健康づくりには最適です！

毛呂山町を歩いてみると歴史や文化など新たな発見があります。

鎌北湖は、春には湖のほとりで咲き誇る桜が、秋には紅葉の美しい景色が楽しめます。草花を目で楽しめ、香りを感じ、鳥や虫の声に季節の移り変わりを感じます。

ウォーキングを続けることで体力に自信が持てるようになりました。

鎌北湖の紅葉 [11月中旬～12月上旬]



産業まつり [11月中旬]

町内の商工業者や農業団体等が集まり、お得な商品がたくさん並ぶ秋のお祭り。ステージ発表もあり、大勢の人で賑わう一大イベントです。



秋の流鏑馬 [11月3日]

おすすめ ③ モデルコース

① ぶらり歴史さんぽコース

約2.3km／約35分

① 大類グラウンド

約7分

② 大類ソフトボールパーク

約5分

③ 大類館

約5分

④ 歴史民俗資料館

約3分

⑤ 鎌倉街道上道

約15分

⑥ 大類グラウンド

② 気軽にまちなか散策コース

約3.5km／約50分

① 毛呂山町役場

約3分

② 伴六遺跡公園

約22分

③ 武蔵野霊園

約5分

④ 武州長瀬駅

約20分

⑤ 毛呂山町役場

③ 花と緑の自然溝喫コース

約4.3km／約1時間5分

① 総合公園体育館

約2分

② 総合公園グラウンド

約3分

③ かまた直賣所

約30分

④ 鎌北湖

約30分

⑤ 総合公園体育館



四季折々の毛呂山を歩こう MAP

すべての世代が健康で幸せに暮らすことを基本理念に掲げる毛呂山町。四季折々の変化を楽しんだり、寄り道したりと楽しみながら健康づくりをしていきましょう。





「健幸ゴクリのまち もろやま」をめざして

行政

「健幸づくりのまち もろやま」は住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちづくりを目指す取り組みです。「健幸」という言葉は、「健康」と「幸せ」の両方が備わり、子どもから高齢者まで世代や障害の有無に関わらず、生きがいを感じて自らしく日常生活を送ることができる状態と定義しています。

そこで、毛呂山町では「健幸づくりのまち もろやま」の実現に向けて、三つの基本方針（健康づくり・生きがいづくり・ひどづくり）を示しています。これらの基本方針には、これまで町に力を入れてきた医療・福祉・子育て・教育での取り組みをさらに発展させ、より確実に

健幸づくりへとつなげていくことが求められています。
さらに基本方針に基づく事業は、町の強みである埼玉医科大学グループやハビス館との連携により推進を図ります。町だけでなく、医療・福祉施設にも協力をあおぎ、医学的知見を活かした効率的な取り組みを実行していきます。

毛呂山町は様々な団体との連携や住民との協働により、健幸づくりのまちの達成に向けて邁進しています。また、住民一人ひとりが健幸に対する意識を持ち、行動を変えていくことが必要不可欠です。町一丸となって実現を目指していきましょう。

"Health and Wellness Town, Moroyama" is an initiative that aims to create a town where each and every resident can live a health and wellness life. Moroyama Town has set out three basic policies (health promotion, creating a sense of purpose in life, and human resource development) with the aim of creating Health and Wellness Town, Moroyama. These basic policies call for the further development of the initiatives the town has been focusing on in the areas of health care, welfare, childcare, and education, and for these to be linked more securely to the creation of health and wellness. Furthermore, projects based on these basic policies will be promoted in cooperation with the Saitama Medical University Group, and Moro Happiness, which are strengths of the town.

Moroyama Town is working hard to become a town that promotes health and wellness through collaboration and cooperation with various organizations. It is also essential that each resident has an awareness of health and changes their behavior.



《 生きがいゴクリ 》

健康寿命の延伸には身体の健康だけなく、生きる楽しみがあり、日々が充実していることによる心の健康維持をサポートしていくことが重要です。そのために、人と人とのつながりや地域コミュニティの活性化を図る取り組みを進めています。また、生涯学習事業の充実や高齢者の通いの場の確保などの取り組みにより、世代や障害の有無に関わらず、住民一人ひとりが生きがいを持ち、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

《 ヒトゴクリ 》

住民一人ひとりが健康で心の豊かさや幸せを実感できるよう、あらゆる機会を通じて健幸意識の啓発を進めます。また、少子化対策の一環として、妊娠・出産・子育て、それに応じた子育て支援の実施により、子どもたちの健やかな成長を支えます。そして未来を担う子どもたちに対し、健幸についての理解を深め、思いやりや生きる力とともに、ふるさとである毛呂山町への郷土愛を深め、将来の定住促進を目指します。



毛呂山町役場



を決定します。

議会

毛呂山町議会は4年に一度の選挙で選出された、町民の代表である14人の議員で構成されています。年4回開かれる定例会議と必要に応じて招集される臨時議会によって、町政運営の方針や予算・条例の制定・廃止などの案件を審議。一般質問などの機会を得て、町政への提言・提案を行うなど、常に町民の声に耳を傾け、民意を反映させた方針を決定します。



毛呂山町議会

70年の あゆみ

昭和14年に毛呂村と山根村が合併し、それぞれの名前を取って毛呂山町という名称が誕生しました。そして昭和30年に川角村と毛呂山町が合併し、現在の毛呂山町の形となって今年で70年。写真と年表でその長い歴史を振り返りながら、町民の皆さんに当時のことをインタビューしました。



⑥ 長瀬駅前野久保線開通



④ 大型ソフトボールパーク



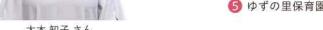
新しくできた遊具で遊ぶのはとっても楽しかった! 游り台が大きくて速く滑れるし、クライミングモードで冒険しているみたいだった。ずっと遊びたいなと思いました。



③ 開園当時の毛呂山総合公園プール



ゆずの里保養園は、柔らかい天然芝の庭園や木の温もりが感じられる園舎が特長で、子どもたちのびのびと元気いっぱい遊ぶことができました。



⑤ ゆづの里保養園

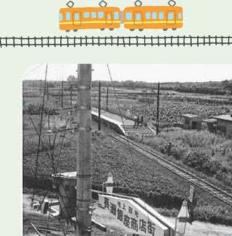
大木 知子さん



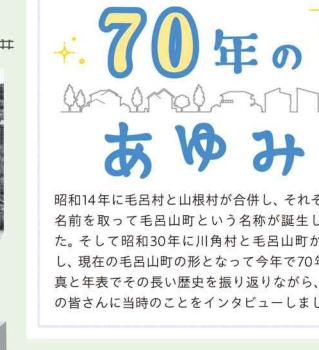
⑦ 大型遊具(総合公園)



② 現在の場所に建てられた役場庁舎



昭和37年頃の武州長瀬駅



毛呂山町が誕生した昭和30年代の風景

昭和33年の新庁舎(現在の中央公民館の場所)完成時、私は26歳で税務課に勤めていました。職員絶出の引越し作業は大変でしたが、新しい綺麗な職場で働くことは嬉しかったですね。

上村 長次さん



① 昭和33年完成の庁舎で勤務する職員

昭和49年

昭和50年

昭和51年

昭和52年

昭和53年

昭和54年

昭和55年

昭和56年

昭和57年

昭和58年

昭和59年

昭和60年

昭和61年

昭和62年

昭和63年

昭和64年

昭和65年

昭和66年

昭和67年

昭和68年

昭和69年

昭和70年

西暦 年号

毛呂山町のできごと

社会のおもなできごと

毛呂山町が誕生。

後楽園遊園地が完成。

日本国際露合に加盟。

東京アーバン成。

ソ連大使館の有する宇宙飛行に成功。

東京リオリンピック開催。

川端康成ノベル文学賞を受賞。

アボルト法(月面着陸)。

日本万国博覧会が大阪で開幕。

日清食油が世界最初の「ファット」を開発。

巨人・長崎道雄選手が引退。

エリザベス女王来日。

ロッキード事件が発覚。

見目静氏、エリザベス・F・アーヴィング氏が名誉町民に推戴される。

「広報ちふまつ」が創刊される。

第1回町民レクリエーション大会が実施される。

長瀬地区に団地事業が始まる。(現在の中央公民館の場所)

毛呂山町役場新庁舎が完成する。(現在の中央公民館の場所)

内久保一郎氏、内野徳治氏、岩上孝平氏が名誉町民に推戴される。

毛呂山・鳩山消防組合境西入広防災消防組合の前身が発足する。

毛呂山・鳩山消防組合境西入広防災消防組合の前身が発足する。

毛呂山町役場新庁舎が完成する。

毛呂山・鳩山消防組合境西入広防災消防組合の前身が発足する。

毛呂山・鳩山消防組合境西入広防災消防組合の前身が発足する。